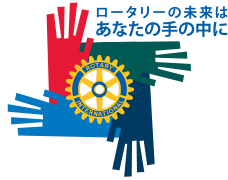


# Weekly Report

2009~2010年度



作者の言葉  
我が百合丘ロータリークラブのシンボルは百合の花。百合は古くから純潔、高貴、愛の象徴として愛されてきた。この花は、上を向いて咲く。それは、我々の心も、常に上を目指して進むべきことを教訓する。知る他の花は、下を向いて咲く。それは、我々の心も、常に下を向いて進むことを教訓する。清風を思い、清純な心で感じ、それこそが、我々の心にも、咲かせるべき花である。大友 大五郎

平成22年5月18日(火)  
第1536回例会  
会長 田内 三和  
幹事 安藤 志子  
会報 関山 秀男

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ <http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

## 第1536回例会記録 平成22年5月18日(火) 40/45回

<点鐘> 田内会長 \*追伸

<ソング> それでこそロータリー

<お客様紹介> 田内会長  
ハワサ・ドロタ様、川崎多摩RC 西一徳様  
川崎RC 白井勇様、東京新都心RC 小川弘様

<会長報告> 田内会長  
米山奨学生 呼日楽巴図君  
1. 2012~13年度ガバナーノミニ告知・確定宣言  
横浜瀬谷RC 露木雄二氏を指名いたしました。  
2. 第2590地区第3グループ会長・幹事会新旧合同  
6/9(水)18:00 柏屋 会費6,000円  
3. 米山奨学会より16回目の功労クラブ表彰をされました。2ヶ月後に感謝状が届きます。  
4. 野島ガバナー補佐より、第3グループ事務局連絡会が6/25(金)にあります。会費5,000円(各クラブ負担でお願いいたします)  
5. ガバナー事務所よりクラブ事務局連絡会のご案内  
6/15(火)16:00~18:00  
メモワールプラザシア21

<幹事報告> 安藤志子幹事  
\*文書着  
川崎日吉RC 川崎多摩RC 新川崎RC

・6/8(火)家族感謝デーです。18:30例会  
例会終了後家族会 帝国ホテル 孔雀の間  
・6/29(火)~30(水)は会長・幹事ご苦労様移動例会  
箱根・伊豆方面 伊東温泉18:30 例会点鐘  
終了後親睦会

<ニコニコ委員会> 佐々木委員  
川崎多摩RC 西一徳様→「本日はお世話になります」。川崎RC 白井勇様→「いつもお世話になります。宜しく願います」。当クラブより 田内会長→「ハワサ・ドロタさん、本日の卓話楽しみにしています。よろしく願います」。安藤志子幹事→「本日の卓話楽しみにしています」。大矢会員→「弟が田中一村の本を出版しました」。以下、感謝をこめてニコニコへ。鴨志田会員、井上久会員、白井会員、中島健児会員、渡邊会員、鈴木会員、玉井会員、中村会員、山崎会員、野島会員、東会員、北島会員、尾崎会員、嶋会員、中島眞一会員、内藤会員、寺尾会員、結城会員、安藤登会員、佐々木会員。

<出席委員会> 田内会長

	会員	出席	欠席	メイク	出席率
第1536回	42※	30	12		71.43%
第1535回	42※	33	9	3	85.71%

\*出席免除会員1

第1538回	6月8日	家族会	移動例会	帝国ホテル
第1539回	6月15日	本年を省みて	委員長報告	
第1540回	6月22日	本年を省みて	会長報告	

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ロータリー財団> 渡邊委員長  
 嶋会員→「これで完納です」。中島真一会員→「家内の誕生日にお花を頂きました。ありがとうございます」。尾崎会員→「今年度の目標を達成しました」。井上久会員→「目標は達成いたしました」。

<米山奨学委員会> 渡邊会員  
 白井会員→「妻の誕生日にお花をありがとうございます」。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	25件	25,000円	1,042件	1,164,000円
財団	4件	48,000円	51件	480,500円
ベネファクター	0件	0円	2件	180,000円
米山	1件	10,000円	44件	604,700円

本日のプログラム

<招聘卓話> ハワサ・ドロタ様  
 経歴：ポーランド出身 ワルシャワ大学日本学科卒。90年来日。西武百貨店勤務、朝日新聞ワルシャワ支局特派員助手を経て、現在フリージャーナリスト。「東京の日常生活」という本を母国で出版。母国では知名度が低かった「乙女の祈り」作曲家バダジェフスカを紹介する模様はNHK番組にて放映される。日本人の夫と子供2人と多摩区生田在住。

私がポーランド出身というと、「遠い国ですね」と言われたりします。確かに地理的に遠いですが、日本ではポーランドのことはあまり知られていないので気持ちの上でも遠いのかもかもしれません。日本で有名なポーランド人というと、コペルニクス、キュリー夫人、ワレサ議長がいます。作曲家ではショパンでしょうか。しかし、他に日本で有名な曲を書いた女性がいます。

ワルシャワ大学にいたときのことです。日本人から「日本でピアノを習う人が弾いてみたいと憧れる『乙女の祈り』という有名な曲はポーランドの人が作った」と聞き大変驚きました。私は全然知らなかったからです。ポーランドでバダジェフスカが知られていなかったのは、大戦中に資料が失われたこと、中流階級向けの音楽だったために共産体制下では無視されてしまったことなどがあると思います。彼女について調べると、世界的に有名な曲を18歳で作ったにも関わらず、正規の音楽教育を受けていないということもあって、本国では評価が低いので怒りすら覚えました。そもそも資料

も大変少ないのです。のちにキングレコードからバダジェフスカの他の曲を探して欲しいと依頼されましたが、16曲探すのに20年かかったほどでした。5年前に出したCDは世界で初めてのリリースです。他の曲も大変美しい曲ばかりでした。このことでラジオの番組を制作したところ、昨年イタリアで行われた国際コンクールで最高賞を取りました。CDはポーランドでも発売され、今年はバダジェフスカ没後160年にあたるので、さまざまなイベントも行われることになりました。ポーランドでは忘れられていたバダジェフスカ。彼女が再び母国で知られるようになったのは日本のおかげです。感謝しています。

